





令和 5 年 度

事業計画書

社会福祉法人 洛南福社会

| 総施設長 | 施設長 | 施設長 | 施設長 |
|---|---|--|---|
|  |  |  |  |

令和5年度事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
管理職

【令和5年度方針】

法人理念を念頭におき、全職員が笑顔を働ける職場環境をつくる。また全職員が利用者の笑顔を引き出させるために思考し実行する。

物事の本質を理解し、目的及び目標をしっかりと定め、それに基づいた仕事をしていく。

【重点目標】

- 1 ご利用者の生活の質の向上
 - ・ 認知症のスキルの向上の研修を実施する
 - ・ ご利用者だけでなく、ご家族の満足度の大切さを理解する
 - ・ ご利用者の笑顔が多くなるよう、各サービスの質について検証と更新を行う

- 2 地域に根差す
 - ・ 地域でのイベントに参加協力し認知度を高める
 - ・ 各種感染症に対応できる知識・技術を生かし予防に努め社会資源としての責任を果たす
 - ・ 地域に必要とされるサービスについて情報収集する

- 3 人材の確保・育成
 - ・ 組織力強化のためにも新たな管理職と役責者の育成
 - ・ 研修や委員会等を通じて職員の能力を発揮できる場と機会作り
 - ・ 就職に結びつく、連携可能な養成校を増やす

- 4 経営の安定
 - ・ BCPの策定から訓練・研修を実施する
 - ・ 常に事業計画を意識し全事業黒字にする
 - ・ ケアプランデータシステムを活用し生産性を向上させる
 - ・ 次年度の制度改正に向けて内容を理解する

令和 5 年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム ヴィラ向島

【令和5年度 方針】

ご利用者の暮らしに「楽しみ」を、ご家族の心に「安心」を、職員の仕事に「やりがい」を持てるよう、互いに笑顔で過ごす事を意識し、愛あるサービスの提供を実践していく。

【重点目標】

1, 生活の質の向上

- ・ご利用者の情報収集を継続して行う事で、生活背景・思いを意識した支援をしていく。支援内容が具体化、共有できるよう個別援助計画を作成し実施していく。
- ・外出時や誕生日には、ご家族にも参加を促し「楽しみ」を一緒に共有する。
- ・行事に捉われず、施設外に出て気分転換する機会を設ける。
- ・認知症ケア向上の為、認知症実践者研修及び認知症介護実践リーダー研修へ参加する。

2, 食生活の充実

- ・誕生日に合わせて食べたい物を提供し、共に祝う。
- ・馴染みのある物、季節を感じる物、香りを感じる物を面前提供する。

3, 事業運営の安定

- ・訓練を通して、BCP(自然災害・感染症)を実践に近いかたちに更新していく。
- ・協力病院との連携を図り、入院者の細やかな情報収集を行う事で特養の空床を活用する。
- ・特養・ショートステイを合わせた70床で年間稼働率を94%以上にする。

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
総務部

【令和5年度 方針】

令和5年度は、従来の介護職員処遇改善加算と特定処遇改善加算に加え、前年度の10月より算定されているベースアップ等支援加算を活用し、在職職員の安定を図る。人材確保については、例年の就職イベントの参加に加え、昨年より行っている法人独自の就職説明会、大学や専門学校との関係強化に尽力する。今後の法人の展望を見据え、常勤職員の採用には積極的に力を入れる事により組織全体の人員の盤石化とサービスの向上を図ることで職員、ご利用者、ご家族全てが笑顔になれる環境をつくる。

【重点目標】

1. 会計の分析

- ・ 毎月の各部署の稼働率と収支を把握し、全事業黒字にする。
- ・ 半期決算を行い事業計画の進捗状況を把握。
- ・ 物価や水道光熱費の上昇に伴い、前年度以上に支出に対するコスト意識をもった効率的な予算執行にあたる。

2. 人材の確保

- ・ 各部署と協力して連携可能な養成校を増やし、新卒採用に繋げる。
- ・ 若手の職員を加えた就職イベントへの積極的な参加。
- ・ 外部企業との連携の化を図り、余裕を持って人材確保ができる環境作成。
- ・ キャリアパスを見直し、求職者へのアピールと在籍職員のモチベーションの向上。

3. 業務の効率化

- ・ 部署によって別々だった口座名義を統一。
- ・ 社会保険の手続き等の電子申請化。
- ・ 設備の老朽化等でサービスに支障がでないよう、点検と修繕を的確に行う。
- ・ 昨年度の感染症の流行を踏まえ、必要な備品の補充と情報を収集する。

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島 ショートステイ

【令和5年度 方針】

特養との一体の流れの中で、本人様・家族様が満足出来るサービスの提供を行う。

利用された際には「来て良かった・また来たい」と思えるよう、新たな取り組みを行う。

【重点目標】

1. 事業運営の安定

- ・ショートステイのベッド数だけで稼働率90%以上を標準にする。
- ・特養の空床を最大限に活用出来るよう、特養相談員と連携し、臨機応変に利用いただける利用者を獲得する。

2. ご利用者へのサービスの質の向上

- ・ベットメイク、掃除、居室整備の「出来ていなかった」をなくす。
- ・返却忘れを減らすために原因の検証、手順の修正を行う。
- ・ショートステイを気軽に利用出来るよう、アメニティの活用・促しを行い、ご家族の負担を軽減する。

3. ご利用者の生活の質の向上

- ・ご利用者、ご家族より普段の生活や自宅の環境に関する情報を集め、在宅生活と連続したものとなるようサービス提供を行う。
- ・充実した過ごし方が出来るよう、特養とのイベント(面前調理含む)に参加してもらうために、日程調整や働きかけを行う。
- ・日常の様子や行事の様子をご家族やケアマネジャーに SNS・写真・ビデオ通話を活用し、発信する。

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ヴィラ向島デイサービスセンター

【令和5年度 方針】

ご利用者、ご家族が笑顔で生活できるサービスを創造する。ご利用者が在宅生活を継続できるサービスを提供するため、職員の専門意識の向上を目指す。

通所介護の本来の意味、目的を再認識し地域での暮らしを充実させるため、地域に開かれた社会資源の役割を担えるように邁進していく。

【重点目標】

1. ご利用者の生活の質の向上

- ①ご利用者の「まだできる」活動の継続力、「これからはじめる」新たな生きがいの創造の機会を作る。
- ②要介護高齢者を支えるご家族の直接の声を大切にし、施設見学の機会拡充や相談しやすい関係性の構築をする。
- ③認知症の知識技術を蓄えるのではなく、実際利用されているご利用者、ご家族に直接寄与できるように認知症対応型通所介護「ランランルンルスマイルケア」との連携を強化し職員の認知症対応力を向上させる。

2. 地域に根差す

- ①むかいじまけんこうくらぶに参加し、むかいじままつり等を通じて法人、事業所の認知度を高める。
- ②伏見区事業者連絡会に参加し、施設、訪問、居宅包括との関係性を強化する。
- ③伏見区事業者連絡会通所部会に参加し、地域での通所介護事業の課題やニーズの確認を行い情報収集を通じてご利用者、ご家族の満足度を向上させる。

3. 事業運営の安定

- ①昨年度の施設内の感染を経験したことを活かし感染時、感染後のご利用者のケア（生活継続力）を念頭に必要なサービス提供体制を実施する。
- ②法人通所施設が5センターある強みを活かし人員や送迎、必要なケアに対する即時対応できる人材活用に努める。
- ③人材確保のため養成校、福祉系大学から将来性のある実習生をアルバイト採用し職員として採用できる道筋を確保する。

令和5年度 事業計画

社会福祉法人洛南福祉会
ヴィラ向島居宅介護支援事業所

【方針】

ご利用者に対し、介護保険法の趣旨と法人理念に則り、ご利用者が可能な限り居宅において笑顔で自立した生活を営むことができるように支援をしていく。

感染症や災害がおきても、ご利用者が住み慣れた地域で生活できるように地域の住民や社会資源と日頃から連携を図る。

【重点目標】

1. ご利用者の生活の質の向上

- ・ご利用者、ご家族に対して満足度アンケートを年1回実施し、望む暮らしを理解し支援する

2. 地域に根差す

- ・地域包括支援センターや地域住民、医療機関、サービス事業所だけでなく、向島全域のあらゆる社会資源の情報収集に努め、地域活動に参加する

3. 人材の確保・育成

- ・個別具体的な研修プログラムを策定し、認知症ケアの知識を高めるための研修を実施する
- ・半年に1回以上スーパービジョンを実施する

4. 経営の安定

- ・介護支援専門員1名あたり月35件のケアプラン作成を実施する
- ・3名体制になった際に速やかに特定事業所加算Ⅲの算定を開始する体制を整える
- ・BCPに基づき、訓練、研修を実施する
- ・ケアプランデータ連携システムを活用し業務の効率化を図る
- ・居宅予防支援会議を活用し、運営適正状況を確認する

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会

ヘルパーステーション ヴィラ向島

ヘルパーステーション ヴィラ観月橋

【令和5年度 方針】

法人理念をもとに、ご利用者が住み慣れた家で、その人が望むくらしを継続していけるよう支援する。

ヘルパーの役割として、在宅生活の中核を担っていることをひとり一人が認識し、その誇りと責任をもちサービスを提供していく。

【重点目標】

① 人材の確保

- ・若い人にヘルパーの仕事を身近なものに感じてもらうため、養成校への訪問の機会の確保、月に1回はSNSを投稿することで仕事内容と魅力を発信していく。
- ・多様な働き方に対応することで、長期的に働ける人材を確保する。

② 職員の資質向上

- ・個別援助計画の意味を理解したうえで支援を行う。
- ・同行訪問による個別指導の実施。
- ・他部署と連携を図り、ヘルパー会議にて個別のご利用者の状態に合わせた適切な介護技術、認知症の知識、スキルの取得。

③ 安定した事業運営

- ・長期的な利用を見据え、要支援の方も積極的に新規獲得する。
- ・タイムリーに各居宅介護支援事業所等へ空き枠の発信を行い、前月より件数が上回るようにする。
- ・訪問スケジュールを効率よく組むことにより、訪問件数（収入）を増やし効率性のある人件費の活用をする。

④ 地域に根差す

- ・7月に地域のニーズに合わせた新規事業（定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス）を開設する。

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ケアハウス サウスヴィレッジ向島

【令和5年度 方針】

洛南福祉会の法人理念である「共に生き、笑顔で支えあう暮らしづくり」に基づき活動する。

自立支援を掲げ、入居者・職員が共に『自由で明るい生活の場』と『入居者自らが地域社会の場に参加できる環境づくり』の実現に協力し合う。

【重点目標】

1. 自立支援と明るい生活の場の提供

- ・日々のコミュニケーションや入居者懇談会を通じて、入居者のニーズを汲み取り職員間で共有、何が必要かを検討し実施に繋げる。
- ・アセスメントシートを継続して更新し、各入居者が目標をもって生活できるよう支援する。
- ・コロナ禍で外出の機会が減っている中、外に出ようと思える行事・イベントの提案、開催。
- ・ご家族へのイベント情報を発信し、入居者の普段の様子を届ける。

2. 入居者確保の為の広報活動の実施

- ・ホームページやSNSの活用、地域イベントへ積極的に参加しケアハウスの存在や魅力を発信する。
- ・紹介会社からの入居率年間5割を目標に、月1回の事業所や役所への営業または電話にて施設の入退情報を発信、待機者確保に繋げる。

3. 災害・感染症等に対する取り組み

- ・災害・感染症のBCPをもとに研修、訓練、見直しを継続する。
- ・年間に2度、入居者と共に訓練を実施する。

4. 職員の資質向上

- ・接遇マナーの意識を高め、入居者の人権や尊厳を守る。
- ・常に入居者の立場で支援が出来ているかを振り返り、改善と評価をする。

令和5年度 <年間行事計画 >

| 開催日時 | 行事内容 | 食事の内容 | 開催場所 | 備考 |
|-------|-----------------------|--------------|---------------------|--------|
| 4月 | 花見ドライブ | 昼食弁当注文 | 未定 | 参加費用あり |
| 6月 | 降誕会 (種智院大学) | | ケアハウス玄関 | |
| 8月 | 納涼祭 | 夕食 | (食堂・デイフロア) 施設駐車場 | 参加費用あり |
| 9月中旬 | 敬老祝賀会 | 昼食松花堂 | ケアハウス食堂 | |
| | 茶話会 | お茶菓子 | ケアハウス食堂 | |
| 10月 | 食事ツアー | 外出 | 未定 | 参加費用あり |
| | ハロウィン | | ケアハウス玄関 | |
| 12月下旬 | クリスマス会 (すばる高校吹奏楽部) | クリスマス ケーキ | ケアハウス食堂 | 参加費用あり |
| | もちつき大会 | きなこ餅等 | 施設中庭 | |
| 1月上旬 | 元旦 | 昼食おせち料理 | ケアハウス食堂 | |
| | 新年会 | 昼食 | ケアハウス食堂 | 参加費用あり |
| | とんど祭り | | 向島南小学校跡 | |
| 2月 | 節分 | 巻き寿司 いわし | ケアハウス食堂 | |
| | 寿司パーティ | 昼食寿司 | ケアハウス食堂 | 参加費用あり |
| 3月下旬 | 定期演奏会 (すばる高校吹奏楽部) | | 文化パルク城陽 | 参加費用あり |

<月間イベント・サークル活動計画(案)>

| 開催日時 | イベント内容 | 開催場所 | 備考 |
|-------------|--------|---------|----------|
| 毎月 第1木曜日 | 買い物ツアー | 近商かベルファ | 参加者 費用持参 |
| 毎月 第1木曜日 | コーヒーの日 | ケアハウス食堂 | 参加費あり |
| 不定期 | 喫茶店 | ケアハウス食堂 | 参加費あり |

※ 書道・茶道・絵手紙・音楽レクリエーションは、コロナ感染症5類分類後、行政指針にあわせてイベントを再開予定。

その他

- ・閉じこもり防止、筋力増強
- ・認知症予防：頭の体操（クイズ・手遊び・漢字・計算）
- ・季節の食事（春・夏・秋・冬）
- ・出張デパート（不定期開催予定）

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
元源 深草

【 令和5年度 方針 】

法人理念を意識し、専門職としての知識、経験をもとに日々笑顔で協働する。短時間・入浴特化型の特性を活かし、地域に必要な社会資源となり、ご利用者が満足できるサービスを提供する。

地域住民・関係事業所との連携強化に努めるとともに、ご利用者・ご家族、地域のニーズに合わせた通所サービスを提供し、安定的な事業運営を行う。

【 重点目標 】

1. ご利用者の満足度を向上させ、笑顔を引き出す

- ・日々の関わりや満足度アンケートからご利用者のニーズを聞き、お楽しみ企画等の取り組みに繋げ、PDCAサイクルを実践する。
- ・ご利用者、ご家族に満足してご利用頂けるよう、日々の関わりから情報収集及びアセスメントを行い、良質なサービスや対応を提供する。

2. 地域連携の維持・拡大

- ・地域ケア会議・運営推進会議に参加するとともに SNS を活用し、事業所の活動をアピールする事で、地域に必要とされるデイサービスを目指す。
- ・併設事業所と協力し地域と連携を図り、地域活動に参加する。

3. 人材の育成・資質向上

- ・法人内介護ランク制度基礎ランクの全職員合格を目標に、知識と技術を高める。
- ・元源との職員交流を継続的に実施し、業務内容等見直し更新する。
- ・併設事業所と協力し委員会や研修、年1回合同事例検討会を実施する。
- ・法人内外の研修に参加し、職場内の資質向上に努める。

4. 事業運営の安定

- ・BCPに基づき、併設事業所と協力し訓練、研修を実施する。
- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などの関係機関との連携を積極的に行う。
- ・登録率 95%（152 枠）以上を目標に稼働率 90%以上を目指す。

年間行事計画

| | |
|---|----------|
| 9月 | 敬老会 |
| 12月 | クリスマス会 |
| 1月 | 正月イベント |
| 2月 | バレンタインデー |
| 3月 | ホワイトデー |
| ※毎月のお楽しみ企画 ・変わり湯の日（1日・10日・26日） ・ご当地スイーツの日（1日） ・～ほっと一息～ちょこっとお菓子週間（第三週目） | |

研修・勉強会（案）

| | |
|--------|----------------|
| 法令研修 | ・褥瘡予防について |
| | ・事故予防について（2回） |
| | ・高齢者虐待について |
| | ・身体拘束について（1回） |
| | ・ハラスメント |
| | ・BCP |
| 感染対策研修 | ・手洗い |
| | ・食中毒 |
| | ・インフルエンザ・レジオネラ |
| | ・ノロウィルス |
| | ・流行している感染症 |
| 階層別研修 | ・介護技術 |
| | ・認知症 |
| 法人研修 | ・AED研修 |
| | ・プリセプター研修 |

令和5年度 事業計画

社会福祉法人洛南福祉会
ケアプランセンターあかつき

【方針】

ご利用者に対し、介護保険法の趣旨と法人理念に則り、ご利用者が可能な限り居宅において笑顔で自立した生活を営むことができるように支援をしていく。

地域住民、関係機関との更なる関係強化に努め、感染症や災害がおきても、ご利用者が住み慣れた地域で生活できるように日頃から連携を図る。

【重点目標】

1. ご利用者の生活の質の向上

- ・ご利用者、ご家族に対して満足度アンケートを年1回実施し、望む暮らしを理解し支援する

2. 地域に根差す

- ・関係団体の会議や研修に参画し、地域の発展に寄与する
- ・併設事業所と協力し、地域と連携を図り年1回以上地域活動に参加する

3. 人材の確保・育成

- ・個別具体的な研修プログラムを策定し、認知症ケアの知識を高めるための研修を実施する
- ・半年に1回以上スーパービジョンを実施する
- ・併設事業所と協力し委員会や研修、年1回合同事例検討会を実施する

4. 経営の安定

- ・介護支援専門員1名あたり月35件のケアプラン作成を実施する
- ・3名体制になった際に速やかに特定事業所加算Ⅲの算定を開始する体制を整える
- ・BCPに基づき、併設事業所と協力し訓練、研修を実施する
- ・ケアプランデータ連携システムを活用し業務の効率化を図る
- ・居宅予防支援会議を活用し、運営適正状況を確認する

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
ランランルンルスマイルケア

【令和5年度 方針】

法人理念を意識し、認知症の方やそのご家族の笑顔を引き出すためのサービスを探求する。認知症の方でも地域の一員として生活を送り、役割を持って活躍できる場を提供するために、職員一人ひとりが認知症ケアの専門性をもち、職務を遂行する。

【重点目標】

1. 認知症の進行状況に応じたケアモデルの確立
 - ・現実見当識訓練を継続し、BPSDの予防及び緩和を図る。
 - ・ご利用者が事業所内で取り組んでいる作業療法等を在宅生活でも継続できるようにご家族や関係機関に情報提供を行う。
 - ・全職員が介護技術を身に付け、人間が行う動作の基本を理解することで認知症の中核症状である失認や失行にも対応できる専門性を獲得する。その為に重度対応も可能なヴィラ向島通所介護と連携して介護技術の向上を行う。
2. 地域に根差す
 - ・向島けんこうクラブ・向島まつり等に参加し、ご利用者の地域活動や社会参加の機会の確保を行う。
 - ・認知症対応型通所の役割として認知症の啓発や広報を行い法人及び事業所の認知度を高める。
3. 事業運営の安定化
 - ・認知症対応型通所の利点や利用後の良い変化を居宅介護支援事業所に広く浸透させ、全登録枠のご利用者を確保し事業の安定化を目指す。
 - ・法人通所5センターの強みを活かし、情報交換を行いながら次年度の制度改正への理解を深める。

令和5年度事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
京都市向島地域包括支援センター

【令和5年度 方針】

法人理念を念頭に高齢者が住み慣れた地域で暮らしを継続できるように、地域住民や関係機関とネットワークを構築し、支援をしていく。また、自然災害等不測の事態への対応について関係機関と連携を図る。

【重点目標】

1. 地域包括ケアシステムの構築

- ・向島けんこうクラブの活動をはじめ、日頃から関係機関との連携を図る
- ・個別の地域ケア会議を各学区で開催し、高齢者個人の支援を充実させる

2. 地域に根差す

- ・認知症の方を地域で見守る体制を整えるため「認知症サポーター養成講座」を年3回開催する
- ・新たに介護予防や健康づくりに取り組めるような拠点を1つ増やす

3. 人材の確保・育成

- ・包括ミーティングや専門職会議において、職員が互いに活発な意見やアイデアを出しあえる雰囲気を作る
- ・各職員年1回以上外部研修に参加し、センター内でフィードバック研修を実施する

4. 経営の安定と非常時の備え

- ・業務継続計画（BCP）に基づき、併設の事業所と協力し訓練、研修を実施する
- ・ケアプランデータ連携システムを活用し業務の効率化を図る
- ・居宅予防支援会議を活用し、お互いの運営適正状況を確認する

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
特別養護老人ホーム レーベン横大路

【 令和5年度 方針 】

法人理念を念頭におき、ご入居者の個性を尊重し、能力や生活背景、および健康状態に視点を向けることで安心できる生活環境を作り、笑顔を引き出せるように関わりを持つ。

地域密着型特別養護老人ホームとして、地域に存在する社会資源との共働の機会を増やし、地域福祉発展への貢献度を高める。

【 重点目標 】

1. サービスの質の向上

- ・ご利用者の生活の質向上のため、季節の外出や個別外出、余暇活動を計画、実施する。
- ・ご入居者とご家族、職員がお互いの顔が見える関係性を構築する。
- ・ご入居者の生活の様子が理解できるよう、各専門職からご家族へ情報提供を定期的に行う。

2. 人材の確保、育成、定着

- ・実習受け入れを通して、人材の確保、指導者としてのスキルアップを行う。
- ・職員がやりがいをもって働き続けるため、ユニットリーダーを中心として各職員と定期的に面談の機会を作り、各職員の能力の向上に繋げる。
- ・各職員が学びたい内容を聞き取り、外部研修を活用し、学びの機会を確保する。

3. 運営の安定

- ・年間平均稼働率をショートステイと合算で94%以上を目指す。
- ・BCPの訓練・研修を計画的に行い、職員全員が内容を理解する。
- ・ICTを活用し、業務の効率化を図る。

4. 地域の安心の拠点となる活動

- ・地域のイベントに参加・協力し、地域の認知度を高める。
- ・SNSを活用し、施設の生活が見える情報発信を行う。

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路ショートステイ

【 令和5年度 方針 】

法人理念を念頭におき、ご利用者の個性を尊重し、能力や生活背景および健康状態に視点を向けることで、生活の場所が変わっても安心して生活できる環境を作り、在宅生活が継続できるような関わりをもつ。

生活の場所の一つとして、ご利用者が自ら「レーベン横大路に行きたい」と思えるショートステイを目指す。

【 重点目標 】

1. サービスの質の向上

- ・個別の生活ニーズの把握を行い、ご家族に利用中の様子が具体的にわかる申し送りを行う。
- ・外出行事を充実させ、計画的に行うことで利用中の楽しみの幅を広げる。
- ・空床利用時も個別ニーズに対応したケアが提供できるよう、情報共有システムを構築する。

2. 人材の確保、育成、定着

- ・各職員が学びたい内容の聞き取り、外部研修を活用して学びの機会を確保する。
- ・職員がやりがいをもって働き続けられるように、ユニットリーダーを中心として各職員と定期的に面談の機会を作り、各職員の能力の向上に繋げる。

3. 運営の安定

- ・年間平均稼働率、特別養護老人ホームと合算で94%以上を目指す。
- ・ケアプランデータ連携システムを活用し、業務の効率化を図る。
- ・BCPの訓練・研修を計画的に行い、職員全員が内容を理解する。

4. 地域の安心の拠点となる活動

- ・地域のイベントに参加・協力し、地域の認知度を高める。

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
レーベン横大路 デイサービスセンター

【令和5年度 方針】

法人理念を念頭におき、ご利用者に「レーベン横大路に行きたい」「利用が楽しみ」「行けばこれができる」と思っていただけるような事業所を目指す。ご家族や関係機関にとっても安心と信頼を共有できるサービス提供に努める。

【重点目標】

1. ご利用者の「やりたいこと」「できること」を大切に
 - ・自宅でされていることはご利用中でもできる環境と、さまざまな場面で「選ぶ」機会が多く持てるような取り組みや対応を工夫し実践する。
 - ・ご利用者自身が動く・書く・見る・聞く・触る・味わう・匂う・体感することで、ワクワクしていただけるような日々の活動の創意工夫に努め、毎月の行事やイベントにも反映させる。
 - ・満足度アンケートを実施しご利用者、ご家族の思い希望に満足できるように実践する。
 - ・通所5センターの企画を計画・実施し、事業所間の連携とご利用者・職員の交流を行う。
2. 地域連携の維持・拡大
 - ・SNSの発信、地域のこども園や学校との交流、地域の活動に参加し、地域に必要とされるサービスを目指す。
3. 人材定着及び人材育成
 - ・毎日のミーティング等で職員の「やりたい」思いを大切にし、実践できるよう職場環境づくりを目指す。
 - ・法人の介護ランク制度基礎ランク全員合格、法人内外研修への参加、介護福祉士資格取得者増を目標に専門性を高める。
4. 定員枠上限までを目標に利用者獲得と運営の安定
 - ・定員枠上限までの登録維持に努め、年間平均90%以上を目標に稼働の安定を目指す。
 - ・BCPの訓練・研修を計画的に行い、スタッフ全員が内容を理解し実践する。

年間行事計画

| | |
|--|---------------|
| 9月 | 敬老祝賀会 ・ レーベン祭 |
| 12月 | クリスマス会 |
| 3月 | 作品展 |
| <p>※毎月のお楽しみ企画をイベントとして実施します。</p> <p>食事:面前提供(月2~3回)・大人様ランチ・大人様御膳・リクエスト食</p> <p>お楽しみ企画:花の会(毎月15日)</p> <p style="padding-left: 40px;">コンビニ外出</p> <p style="padding-left: 40px;">スポーツ大会</p> <p style="padding-left: 40px;">おやつづくり</p> <p style="padding-left: 40px;">お花見・紅葉ドライブ</p> <p style="padding-left: 40px;">かわり湯(毎月26日)</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">横大路保育園との交流(7月:七夕 12月:もちつき 3月:ひな祭)</p> | |

研修・勉強会(案)

| | |
|--------|---------------|
| 法令研修 | 褥瘡予防について |
| | 事故予防について(2回) |
| | 高齢者虐待について |
| | 身体拘束について(2回) |
| | ハラスメント研修 |
| | BCP研修 |
| 感染対策研修 | 手洗い |
| | 食中毒 |
| | インフルエンザ・レジオネラ |
| | ノロウイルス |
| | 流行している感染症 |
| 階層別研修 | 認知症 |
| | 介護技術 |
| 法人研修 | AED研修 |
| | |

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福祉会
元 源

【 令和5年度 方針 】

法人理念を意識し、ご利用者・ご家族との「信頼関係」を大切にし、「選ばれるデイサービス」を目指して温もりのあるサービスを提供する。

短時間の入浴特化型ではあるが、入浴だけにとらわれず、行事やイベント等充実したサービスを提供する。

ご利用者が住み慣れた地域で安心した暮らしの継続のために、ご家族や他のサービス事業者・地域の関係者との連携に努める。

【 重点目標 】

1. 職員の資質向上

- ・法人内外の研修参加や部署内での勉強会の計画・実施。
専門知識向上の為に、全員が法人の介護ランク制度Cランク合格を目指す。
- ・法人の介護技術指導者研修で学んだことを現場で実践することで、より必要な介護技術を身につけ、知識と技術を高める。
- ・元源深草との職員交流を継続的に実施し、業務内容等見直し更新する。

2. ご利用者・ご家族の「声」を大切にする

- ・常に新しい事への挑戦を忘れず、「出来ない」ではなく「出来る」を模索しマンネリ化の解消と、ご利用者の楽しみとなる企画を工夫・実施する。
- ・ご利用者満足度調査の継続とご利用者・ご家族の声を取り入れた内容の充実を図る。

3. 地域連携の維持・拡大

- ・運営推進会議やこども園との交流、SNSの活用・地域の活動に参加し、事業のアピールすることで、地域に必要とされるサービスを目指す。

4. 事業運営の安定

- ・法人内外の居宅介護支援事業所等の関係施設と連携を深め、毎月の営業活動に力を入れ、稼働率の90%以上を目指す。
- ・BCPの完成、研修・訓練の実施で職員全員が内容を理解し実践する。

行事・イベント計画

| | |
|-----|-----------|
| 7月 | 七夕イベント |
| 9月 | 敬老のお祝い |
| 12月 | クリスマスイベント |

他、企画として

花楽の会・和、洋菓子の日・パン販売・〇〇記念日・門松寄せ植え・ポイントラリーの実施・横大路こども園との交流・季節風呂・変わり湯など

研修・勉強会(案)

| | |
|--------|----------------|
| 法令研修 | ・褥瘡予防について |
| | ・事故予防について(2回) |
| | ・高齢者虐待について |
| | ・身体拘束について(2回) |
| | ・ハラスメント研修 |
| | ・BPC研修 |
| 感染対策研修 | ・手洗い |
| | ・食中毒 |
| | ・インフルエンザ・レジオネラ |
| | ・ノロウイルス |
| | ・流行している感染症 |
| 階層別研修 | ・認知症 |
| | ・介護技術 |
| 法人研修 | ・AED研修 |
| 施設内研修 | ・防災研修 |

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 洛南福社会
レーベン横大路居宅介護支援事業所

【 令和5年度 方針 】

法人理念を念頭におき「ご利用者の笑顔を引き出せる支援」を思考し、実行できるよう、職場環境を整え、各自の専門性の強化及びチームケアの徹底、情報収集を行う。また、地域包括ケアシステム構築の一助となるよう地域住民や関係組織との関係づくりに取り組む。

【 重点目標 】

1. ご利用者の生活の質の向上
 - ・ご利用者、ご家族に対して満足度アンケートを年1回実施し、望む暮らしを理解し支援する
2. 地域に根差す
 - ・地域住民活動に年1回以上参加し、認知度を高める
 - ・ご利用者や地域住民の声を法人内サービス事業所へ還元する
3. 人材の確保・育成
 - ・各種機関の活動に参画し、新たな知見や情報を得て事業所に還元する
 - ・各職員が「認知症」に関する外部研修に年1回以上参加し、理解が深まるよう報告会を事業所で実施する
4. 経営の安定
 - ・介護支援専門員1人あたり稼働35件以上を達成する
 - ・特定事業所加算Ⅱの算定を継続する
 - ・BCPに基づき、併設事業所と協力し訓練、研修を実施する
 - ・居宅予防支援会議を通じて、運営適正状況を確認する
 - ・ケアプランデータ連携システムを活用し業務の効率化を図る